



# かさねひがし通信

～夢・あこがれをもち、たくましく未来を拓く子どもの育成～

## 暑い日が続いています。熱中症対策にご協力をお願いします！

このところ、朝から気温が高い日もあり、プールでの学習も楽しくできるようになってきました。一方、あまりの暑さに、持ってきた水筒が午前中にからになってしまう子も出てきています。毎年お願いしていますが、暑い時期には、大きめの水筒を持たせる、または2本持たせるなどの対策をお願いします。

今年の梅雨は、空梅雨になりそうという報道も出ています。学校でも屋外での活動や休み時間には、マスクを外すことや、WBGT指標によっては屋外での活動を中止するなどの対策をとっています。登下校についても、会話をせずにマスクを外すことを指導しています。ご家庭でも朝の登校に際してマスクを外すことや傘を用いて直射日光を避けることなどを「いってらっしゃい」の挨拶に加えてお話しいただけるようお願いいたします。

裏面に、ホームページに掲載している「2022 熱中症予防対策マニュアル」を一部抜粋して掲載しています。ぜひ全文についてもホームページでお読みいただき、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

## 6月、9月は草津市いじめ防止啓発強化月間です

6月は「いじめ防止啓発強化月間」です。笠縫東小学校では、子どもたちにアンケートをとったり、教育相談の時間をとったりして、心の不安があれば少しでも早く発見し解決できるよう取り組んできました。

「いじめの定義」は、大きく変わっています。本校でも、『保護者向けいじめ防止啓発リーフレット』を作成し、ホームページに掲載しています。また、草津市でも『草津市いじめ防止啓発リーフレット』を作成しており、本校のホームページからご覧いただけるようリンクを貼っています。

いじめの未然防止はもちろん、早期発見・対応・解決が重要です。保護者のみなさまにおかれましては「これって、いじめじゃないのかな?」「この頃、朝、学校に行く支度を進んでしないので学校での様子が知りたい」といったことなど、お気軽にお知らせください。

昨年から設置している『笠縫東小学校いじめ問題相談フォーム』についても、より使いやすくなったものを公開予定です。公開準備が整いましたら、メール等でお知らせしますので、こちらもご活用ください。

校長 古谷 匠(ふるや たくみ)

保護者向けいじめ防止啓発リーフレット

東っ子を  
いじめから守るために  
いじめ STOP 

しない させない みのがさない

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」では、こんなケースもいじめになります。

休み時間になっても自力で問題を解いているときに勝手に答えを言われて、嫌な気持ちになった。	持ち物を隠されて、被害の子が探している姿を見て、周囲の子が笑っていて嫌な気持ちになった。
分団登下校中に、「早く歩いてほしい」からと後ろからランドセルを押されて、嫌な気持ちになった。	みんなには「おはよう」と言っているのに、自分だけしてもらえず、嫌な気持ちになった。

 なにをしたか、誰がしたかではなく、被害を受けた子が「嫌な思いをしたらいじめ?」

詳細は中ページへ...

## 熱中症指数計（WBGT計）による計測について

- (1) 活動前には、必ず活動場所で計測し、数値を確認すること
  - ・運動を伴う活動の前に毎回、計測・確認する。
  - ・校外学習の出発時、学習活動前に計測・確認する。
- (2) 活動中も計測し、確認すること
  - ・校外学習において徒歩で移動の場合は、移動中にも計測・確認する。
  - ・気象の変化に注意しながら、長時間活動する場合には、随時、計測・確認する。

## 体育学習等、屋外での活動の対応について

- (1) 事前の対応（情報収集）
  - ①天気予報や「環境省熱中症予防情報サイト」等で、当日の気候状況を把握する。
  - ②WBGTが28℃以上になることが予想される場合は十分に注意する。
- (2) 当日の対応（具体的方策）
  - ①熱中症対策グッズを準備する。
  - ②水筒を必ず持参させる。
  - ③帽子を必ず着用させる。
  - ③WBGT計（黒球式）を持参し、随時計測する。
  - ④ミストを稼働する。（運動場での体育学習時、長休み、昼休み）
- (3) 活動の目安

暑さ指数 乾球温度の目安	体育科学習	屋外の活動	休み時間
WBGT 31℃以上 乾球温度 35℃以上 <b>危険</b>	実施不可 活動中止	実施不可 活動中止	外遊び禁止
WBGT 28～31℃ 乾球温度 31～35℃ <b>厳重警戒</b>	実施可（条件付き） 激しい運動は中止 児童の健康状態の把握 10～20分おきに休憩 積極的に水分補給 WBGT 30℃を超えた場合は活動中止	実施可（条件付き） 活動時間短縮等の検討 児童の健康状態の把握 10～20分おきに休憩 積極的に水分補給 WBGT 30℃を超えた場合は活動中止	運動場開放（条件付き） 児童の健康状態の把握 前後に必ず水分補給 注意喚起の放送 WBGT 30℃を超えた場合は外遊び中止
WBGT 25～28℃ 乾球温度 28～31℃ <b>警戒</b>	実施可 児童の健康状態の把握 30分おきに休憩 積極的に水分補給	実施可 児童の健康状態の把握 30分おきに休憩 積極的に水分補給	運動場開放 必要に応じて注意喚起の放送
WBGT 21～25℃ 乾球温度 24～28℃ <b>注意</b>	実施可 児童の健康状態の把握 積極的に水分補給	実施可 児童の健康状態の把握 積極的に水分補給	運動場開放
WBGT 21℃未満 乾球温度 24℃未満 <b>ほぼ安全</b>	実施可 児童の健康状態の把握 適宜水分補給	実施可 児童の健康状態の把握 適宜水分補給	運動場開放

※下校時のマスク着用については、休み時間のWBGT値の基準に準じ、はずすようにする。